

第4学年梅組 国語「十さいを祝おう」略案

指導者 嵯峨千鶴子

1. 日 時 10月19日 3校時(10:30～11:15)
2. ねらい ○ 伝えたいことをはっきりさせて、聞き手に分かりやすいスピーチをすることができる。
3. 本時の実際

時 間	学 習 活 動 と 児 童 の 動 き	教 師 の 支 援 及 び 評 価	セ ン タ ー の 先 生 の 支 援	備 考
10:30	1. 課題を確かめる ○ 「二分の一成入式」に向けてスピーチの達人になろう。	◇ 前回の発表会で満足できた点を想起させるとともに、課題となった点を示し、意欲を高める。		
10:35	2. 上手なスピーチについて話し合う ・ 以前に学習したことを想起し、速さ、声の大きさ、視線などについて確認する		◇ 子どもたちが話し合ったポイントで十分な内容になっているか、アドバイスをいただく。	
10:45	3. グループで聞き合って練習する	◇ 支援計画に従って順番に各グループを回り、助言をする。 ◇ チェックリストを用意しお互いにねらいにそったアドバイスができるようにする。	◇ グループ練習が終わったグループから順にカメラの前でスピーチし、よい点や改善すべき点をアドバイスしていただく。	
11:05	4. 上手な発表を聞き合う ・ 自分の発表に生かせることを見付ける	◇ 優れた表現ができた児童を2～3名紹介し、他の児童の参考になるようにする。	◇ 代表児童のスピーチについて講評していただき、「とっておきのコツ」を伝授していただく。	
11:10	5. ふりかえる ・ 本時のがんばりをふりかえり、本番へ向けての意欲をもつ。	☆ 進んで練習し、相手に分かりやすい話し方ができたか。		

